

①個別データシート

種類 エネルギー

英名 combustion of oil coke

整理番号: JP111027

分類 石油製品・石炭製品

和名 オイルコークスのボイラーでの燃焼

・GHG排出量 1.05E-01 kg-CO₂e/MJ

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 燃焼・オイルコークスの製造

・技術の内容と機能 (原油採取～分留～石油精製)～燃焼

・情報源 オイルコークスの燃焼

財団法人 石油産業活性化センター:“石油、LNG及び石炭のLCA手法による比較に関する調査報告書”, (1999)
独立行政法人経済産業研究所,“総合エネルギー統計の解説/ 2007年度改訂版”, (2009)
環境省・経済産業省,“温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.3.0”, (2010)
環境省,“平成13年度大気環境に係る固定発生源状況調査”, (2003)

・データ作成者コメント

オイルコークスの燃焼に伴う大気圏排出物を温暖効果ガス排出量報告・算定マニュアル、国内ボイラの平均的な排煙脱硫率(82.1%)および脱硝率(64.3%)として算出。

・適用範囲

温暖効果ガス排出量報告・算定マニュアル、国内ボイラの平均的な排煙脱硫率(82.1%)および脱硝率(64.3%)として、オイルコークスの燃焼に伴う大気圏排出物を算出したものである。

・システム境界

資源採取からオイルコークスの製造を経て、ボイラーでの燃焼までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、当該燃焼由来のCO₂(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開 整理 番号	数値	単位	備考	
資源/原材料	中間フロー	入力	オイルコークス	オイルコークス,デレードコーキング	JP311021	3.34E-02	kg	オイルコークスの発熱量 29.9MJ/kg
大気圏排出物	基本フロー	出力	N2O			5.80E-07	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	SO2			8.99E-05	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	CO2			9.30E-02	kg	
製品	中間フロー	出力	燃焼・オイルコークス	燃焼・オイルコークス	JP111027	1.00E+00	MJ	